

2 「(仮称)青森市地域福祉計画」策定に係るアンケート調査結果

(2)社会福祉法人、NPO法人、ボランティア団体へのアンケート

(青森市地域福祉計画 -地域支え合いプラン- p.122)

【問 17】

誰もが住み慣れた地域で安心して安全に暮らすことができる地域づくりを進めるために、あなたの地域のこういうところを良くすれば、地域がもっと住みやすくなるといった点など、地域福祉に関するにご意見、ご要望がありましたら、ご記入ください。

(自由記載)

【回答】

行政だけでは不十分だが、福祉の専門家と連携することにより解決できる問題が結構あると感じています。また逆に福祉の専門家だけの対応では難しいが、行政が介入することにより解決できることもあると思います。それぞれの優位性を発揮し、協力共同で地域住民の安心安全な福祉サービスを受けられるためのシステム作りが重要だと思います。

道幅が狭く曲がりくねっている。何処の道も行き止まりである。除雪車はなかなか来てくれない。幼児小学生の通学がとてもかわいそうです。福祉のこころの前に通園した子通学した子が並木道の通学道を思い起こせるような道を先に考える事だと何時も思います。

浪岡(郡部)においても核家族化等で、地域の人同士の関係性が薄くなってしまった。関係性を高める普段の交流、イベントが必要と思う。

新城地区そのもの高齢化が進み、若い人が流出することに歯止めをかけなければならない。そのための雇用を促進できるような拠点作りをしていきたいと思います。また、福祉へのイメージや福祉活動を実践したり共に考えたり出来るような関わりが求められていくと思います。

安全に暮らすためにはこの地域は雪が大変です。道路の確保、お年寄りの屋根の雪下ろし片付け一番大事だと思います。お年寄りでも安全に歩ける散歩道があればと思います。

挨拶や声がけ地域に住んでいる人達に関心を持つこと。

ボランティアやNPOの活用が必要であるが、それらの活動への動機づけが重要。また、ボランティアであってもサービスが途切れないしくみが必要。

興味本位ではない、人と人との繋がりを深めていく事で地域の繋がりも生まれてくるのではないのでしょうか。

地域を何グループかに分け、小さなグループごとに話し合い、そこから提案された事項について、中グループその上で全体で話し合うというステップをふんで話し合いが、し易くなるよう工夫して進めていって欲しい。

町会、老人会、婦人会などで従来より地域を支えてきた人達とNPOなど市民ボランティア活動をしている人、福祉介護の事業所の人達が協力して地域の課題に取り組めるような場作りが必要だと思います。それぞれの団体や人々が持っている知恵や経験に学び結びつける役割を行政に期待したい。

独居老人の引きこもりを解消する方法を何段階にも分けて計画を立ててみる。第1にお

<p>金をかけず、第 2 に気兼ねなく、第 3 にプライバシーに入り込まずに毎日にメリハリをつけて何か一つ楽しい事がある 1 日でいられるよう、周囲が努力する必要があると思います。</p>
<p>子供に子育て中の親に優しい大人のまなざしを育てる為に子育てを支援する人を育てる必要があると考えます。又、色々な団体や NPO、地域の協議会や町会のネットワークを繋げる機会があると互いの存在を知り連携出来るのではないのでしょうか？</p>
<p>障害があってもなくても高齢者でも子供でも自分らしく生きられる地域社会であればと思います。当会、知的障害児者を持つ親の会ではありますが、ひとりの子供を家族だけで支えるのは困難であると考えます。地域の方々に理解して貰えるよう我々も努力が必要であると思いつつ、ネットワークのようなものが構築されることを願います。</p>
<p>1. 除雪の充実(特に家の前においてゆく置き雪) 2. 地域主体で除雪ができるよう今の序排雪の仕組みの基本的見直し。 3. NPO の活動拠点づくりの支援(どこの NPO が資金不足で事務費の確保が難しい。</p>
<p>今迄地域サンロード、イオン青森店等で無料で作品を販売するのに貸してくれているので、とても地域の方々とうまくやっております。</p>
<p>問 6 の項目はすでに取り組みされてきたと思うが、どれも具体的な成果としての結果が出ていないのが現状。同じことの繰り返しでは高齢化の進む地域では、もう手遅れだと感じる。行政にはもっと真剣に取り組んで実現を目指して欲しい。</p>
<p>行政とのパートナーシップの構築が大事ですが、行政がどう対応・行動するかが大事だと思います。</p>
<p>町内の一人暮らしの方がいつでも利用できる場所があったら良いかと思います。庁舎にも無料で使用できる場所を造っていただきたいです。</p>
<p>今年 8 月頃から具体的活動が始まります。</p>
<p>行政と関連団体の協働。</p>
<p>少子化に伴い利用する親子が減っています。又、活動を解散する地域もあります。まだまだ周知する力が足りないと思います。</p>
<p>子供達の「福祉」への関心を深めるための教育、ボランティアの推進を図る。地域住民と地域で活動している施設との交流を図る。災害時等いざという時お互いに助けあえるよう、顔の見える交流が必要。地域の社会福祉協議会の地域に密着する活動(待っているだけでなく出向く)が大切。</p>